

鳥や昆虫などの細部まで丁寧に表現した田尾悠夏さんの「小さな絵画展」＝那覇市首里久場川町のコーヒーハウスハコニワ



命への優しいまなざし

田尾さん(首里中)絵画展 首里久場川町



那覇市立首里中学校1年生の田尾悠夏さん(13)

「小さな絵画展」が那覇市首里久場川町のコーヒーハウスハコニワで9日から開かれている。軽い発達障がいがある田尾さんは、幼少から絵を描くことが大好きで、8歳から独学で本格的に描き始めた。小学4年から毎年、同店で個展を開いている。4回目となる今年は、4カ月かけて細かい点描で立体的に描いた「ミンミンゼミ」など、昆虫を中心に鳥や花など約20点を展示している。

また、作品にはそれぞれ詩のようなコメントがついている。「トノサマバツタの呼吸器官」には「バツタは人間と違う体のつくりをしているけど人間と同じ生きものです」と優しいメッセージが添えられている。

田尾さんの成長を見てきた店主の宮里りさんは「毎年、作品が細かくなっている。細部までよく観察して描いていると思う」と話した。

同展は2月4日まで。問い合わせはハコニワ ☎098(9888)0220(水曜休み)。